

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

アーメン

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会イエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3

電話/FAX: 0225-22-4090

ホームページ: <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール: i-eikou@tohoku.uccj.jp

振替口座: 02280-8-2810

教会創立: 1887年9月25日

集会案内

聖日礼拝	毎週日曜日	午前10:30
早朝礼拝	毎週日曜日	午前7:30
交わりの会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後7:30

2026年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2535		2026年8月9日	
平和聖日礼拝順序			
		受付 司会 献金 奏楽	礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
前	奏		
招きの言葉	[9] ガラテヤの信徒への手紙第3章28節	司会者	
讃美歌	29	一同	
子どもたちへのお話 あるいは 悔い改めの黙禱			
讃美歌	5 6 (2節)	一同	
聖書	詩篇33編12節		(新約聖書 6 4 ページ)
祈り		司会者	
讃美歌	5	一同	
お話し	「神の民」		川上直哉 牧師
讃美歌	5	一同	
献金		一同	
報告		司会者	
讃美歌	89	一同	
祝福の祈り			
後奏			
* 当教会では 着席のまま礼拝を守っています。 * 旧約聖書は前半 (P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。 * 献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。			
∞〇∞〇∞〇∞〇∞ おしらせ ∞〇∞〇∞〇∞〇∞			
今週金曜日夜、濱和弘著『人生のすべての物語を新しく』の オンライン読書会を開始します。「3.11」から始まった 著者の新しい思索のスタートになる本です。 ご参加の方は、どうぞ、お知らせください。			

∞∞∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞∞∞	
☆ 「フォーサイス」読書会 8月10日(月)19:30～ オンライン	
☆ 「初心に帰ってマルコ伝を読む」会 8月11日(火)10:30～ オンライン併用	
☆ 「御言葉と祈りの時」 8月12日(水)19:30～ オンライン併用	
∞∞∞∞ 次週の予告 (8/16) ∞∞∞∞	
☆ 主日礼拝 (お話：川上直哉 牧師)	
[聖 書] 「偏在する神」	
[お 話] ペテロ第一5編5節	
[讃美歌] 32 32 486 90 [招きの言葉] 48	
受 付	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
奏 楽	

- ∞〇∞〇∞〇∞〇∞ お知らせ ∞〇∞〇∞〇∞〇∞
- ✦今後の予定は以下の通りです
- ・8月9日(日) 仙台キリスト教連合「平和祈禱集会」
(カトリック元寺小路教会にて・14時半～)
 - ・9月6日(日)日本基督教団柴宿教会にて礼拝(14時半～)
 - ・9月13日(日)10時半からの礼拝を中澤宣教師が担当
この日、川上牧師はワイズメンズクラブ国際大会でマレーシアに出張
 - ・9月20日(日)日本基督教団石巻栄光教会創立記念礼拝
 - ・10月4日(日)日本基督教団柴宿教会で礼拝奉仕

《 先週の集会統計 》			
聖日礼拝	11人	み言葉と祈りの会	5人
早朝礼拝	-	聖餐式	9人
月定献金		特別献金	
席上献金	¥17,160		

週報別冊

2026 年 8 月 9 日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【日本基督教団石巻栄光教会関係】

- 「ニュースレター」（全国同信伝道会）：「付帯施設のある教会の教師のための協議会報告」として「今は世の世にてもあらばこそ」（仙台東教会牧師 佐々木玲哉さん）等が掲載されています。
- 「ベネズエラ地震緊急支援募金」（仙台 YMCA）：6 月 24 日に起こった地震によって「死者 22,000 人以上、負傷者 11,000 人以上、行方不明者数万名以上」の被害となったベネズエラ地震に対し、ベネズエラ YMCA を通じ、仙台 YMCA も支援を行う事となりました。8 月 31 日までの募金を開始することです。

【その他団体・教会関係】

- 「支倉チルドレン合唱祭」（支倉合唱祭実行委員会）：8 月 18 日（火）午後 2 時から、仙台市戦災復興祈念館にて、スペイン・セビージャと米国・ニューヨークと仙台と石巻の小中学生の合唱団が「慶長遣欧使節」を機縁として合唱祭を行います。入場無料です。
- 「WCRP」（公益財団法人 世界宗教者平和会議日本委員会）：川上牧師も委員に参加している「3 タスクフォース」の再編成などが報告されています。
- 「女性の家 HELP」（公益財団法人 日本キリスト矯風会）：「暴力被害・性格困窮からの脱出・再出発を試み、望まぬ妊娠前後を行き迷う若年女性たち」を支援し続けた 2025 年の活動報告が掲載されています。
- 「ご案内とお願い」「ニュース」（宗教者核裁判原告団）：「宗教者が核燃料サイクル事業の廃止を求める裁判」の報告等が掲載されています。
- 「会報」「会誌」（全国かくれクリシタン研究会）：牧師も理事を務めている研究会からの通信です。YMCA の総主事であった前会長の追悼記事等が掲載されてます。

- 「SINAPIS」（カトリック大阪高松大司教区社会活動センター・シナピス）：日本語の不自由な方が「泥酔してお弁当を万引きした」刑事裁判の証言席からの現場報告「事務局こぼれ話」（ビスカルド篤子さん）等が掲載されています。
- 「共助」（基督共助会）：小高・浪江伝道所の様子を記す「キリストの形 成るまで」（牧師 飯島信さん）等が掲載されています。
- 「Christian Arts Festival」（OM ジャパン）：9 月 26・27 日に仙台市の愛子にある日本ルーテル同胞教団センター（神学校）で行われる催事の連絡を頂きました。

2. 牧師動静

8 月 3 日（月）

午前中、佐山さんたちと東京・高円寺で聖餐式をし、午後、学生さんからの取材を受けてからラジオ局の取材を受け、夜、仙台まで戻りました。

8 月 4 日（火）

午前と午後に、宮城刑務所で教誨活動をし、夜、日本基督教団仙台宮城野教会で「支倉国際合唱祭」のための練習を主宰しました。

8 月 5 日（水）

日中、休暇をとりながら、教会で執務し、夜、祈祷会を主宰しました。

8 月 6 日（木）

午前中、一件の訪問をして「大人の教会学校」と聖餐式をし、午後、休暇を頂きました。

8 月 7 日（金）

午前中、休暇を頂き、午後、仙台 YMCA で会議を主宰し、夜、多文化共生国際墓苑設立委員会をオンラインで主宰しました。

8 月 8 日（土）

午前中、休暇を頂き、午後、仙台白百合女子大学カトリック研究所主催の平和集会に出席しました。

- 先週土曜日は、仙田白百合女子大学カトリック研究所主催で「平和旬間講演会」があり、そして今日、その連携の中で、仙台キリスト教連合主催の「平和祈禱集会」があります。礼拝後、川上牧師は石巻にお住いのイリナさんをお連れして、集会に御登壇いただく係です。8月は平和を思う時です。教会が一致して平和を祈ることができますように、どうぞ、覚えてお祈りください。

8月10日（月）

日中、エマオで執務し、夕方、仙台 YMCA で会議を主宰し、夜、フォーサイス読書会をオンラインで主宰します。

8月11日（火）

休暇を頂きます。

8月12日（水）

午前中、教会で執務し、午後、「全国かくれキリシタン研究会」の会議をオンラインで主宰し、夜、祈禱会を主宰します。

8月13日（木）

日中、教会で執務し、夜、オンラインで読書会を主宰します。

8月14日（金）

日中、エマオで執務し、夜、ワイズメンズクラブの役員会に出席します。

8月15日（土）

日中、「みちのく潮風トレイル」を歩いています。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、
ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。
日程を調整して、お会いしたく存じます。

今は世の世にてもあらばこそ

佐々木玲哉（仙台東教会）

初めて開催された付帯施設教会研修会のために、その趣旨の説明から始まりました。新井純先生、有岡史季先生、久保田愛策先生によって講話がありました。その中で、牧師と施設の経営者は、その役割と立場について重なり合っているところもあれば、相反する場面があることを、事例を交えながらの説明がありました。このことは頭では理解できていても、実際に決断を下しお伝えすることの難しさは、想像を超えていた。信仰者の戦いの様でもあり、何を大切にすることを見極めることの難しさを改めて感じるところとなりました。それが、こども園、保育所、幼稚園に関わらず、どこでも必要であることは自明のこととはいえ、実際の事例は、私の様な経験の浅い者にとっては前途多難な気さえしておりました。

ところで、1日目の有岡先生の講話の中で、IT環境の運用についてはその導入を含めて多くのノウハウをお教えいただきました。私自身、どこの園でも実施できる事例ではないとはいえ、各園での共有があまりなされていないポイントであると感じていたことでありました。近隣の保育園では、そのノウハウの共有は保育士等の獲得のためになかなか共有されません。キリスト教保育連盟やキリスト教保育同盟についても言えることですが、I

T環境や人材確保などのノウハウを競合の関係性ではないために包み隠さず共有できるのが強みであると思っています。今後も各園の競争が激しくなっていく中で、このような情報共有も積極的に行なって行ける場がもっとあればと願っています。

1日目の終わりに懇親会があり、2日目にはグループディスカッションや全体会があり、より詳細なお話をする事ができ、非常に有意義な時間でした。グループディスカッションの時間に、多くのことを話すこととなりましたが、私の居たグループでは暗い話を打ち壊すことはできませんでした。各幼児施設において、その諸課題は、内部的な人間関係に関係することと、地域に関すること、日本全体の少子高齢化（あるいは無子高齢化）に関係することなど、複合的な課題でありました。しかし、まだ現場経験の乏しい小生などには非常に興味深いものばかりでした。人間関係ありきの職場であることは言わずもがなですが、そこに疲れることも当たり前ののだということもわかり、とても気が楽になりました。

最後に、今回の研修会を企画してくださった皆様、会場などを含めてお世話をしてくださいました山崎道子先生、山崎壘偉先生にも感謝申し上げます。